

地域の枠を越えて交流

下田川親善スポーツ大会



福智町と糸田町の子ども会がニュースポーツで交流を行います。競技は水上で行うカーリングを屋内のフローリングなどで行う「カーリング」や、通常の玉入れと違い、決められた個数のお手玉をいかに速くカゴの中に入れるかを競う「アジャタ」です。ぜひご参加ください。

日時▶ 9月23日(日) 9時~開会式
対象▶ 町内の小学1年生~中学3年生
場所▶ 糸田町町民体育館(糸田町宮床3814-1)
申込期限▶ 9月7日(金)まで
※詳細は各子ども会に配布するチラシをご覧ください
問 生涯学習課 ☎28-2046

Cultural exchanges

インフォメーション & ニュース in FUKUCHI

Promotion services

平成24年度の一般コミュニティ助成事業で、ニュースポーツの「囲碁ボール」と「シャッフルボード」を、それぞれ6セットずつ購入(総額200万円)しました。この事業はみなさんが購入した宝くじを財源に、財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献事業として、集会施設や地域の環境整備などを図り、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的としています。町では、今回購入した備品を、地域のコミュニティ活動促進の場で活用していきます。



地域コミュニティ活動促進に活用

宝くじ助成事業でニュースポーツの備品整備

fire fighting

昭和34年に消防団に入団し、平成14年に退団するまで、43年の長きにわたる、消防任務に尽力してきた桑野軍治さん(金田)。その長年にわたる功績がたたえられ、7月5日に瑞宝単光章が贈られました。桑野さんは「周りの皆さんの協力がなければ、消防団員は務まりません。皆さんと協力してきたことが評価されてうれしい」と受賞の感想を話し、「今後とも、地域のために貢献できるように精進したいと思います」とさらなる意欲を燃やしていました。



瑞宝単光章受賞

桑野軍治さんの長年の消防功労をたたえて

人権活動に尽力した吉田さんに表彰状



住民の基本的な人権が尊重されるよう、日ごろから地域に密着した活動を行っている人権擁護委員。その職務を平成16年から務め、3期9年目を迎える吉田伸宏さん(金田)が、5月25日に福岡県人権擁護委員連合会長表彰を受賞しました。自宅にも相談者が尋ねてくるほど、地域住民からの信頼も厚い吉田さん。「自分のためだけでなく、人のためにしてきたことが評価されてうれしい」と話し、今後の活動に「任期があと1年となりますので、相談事や人権運動などを最後まで精一杯がんばりたい」と目を輝かせていました。

問 人権同和対策課 ☎22-7764

human rights

福岡県人権擁護委員連合会長表彰



- ▶ 方城中学校 ☎22-0237
- ▶ 上野小学校 ☎28-2133
- ▶ 弁城小学校 ☎22-0129

学校からのお知らせ

方城中・上野小・弁城小のPTA広報紙

県の広報紙コンクールで3校入賞

PTA広報紙の質を向上させようと始まった、今年で20回目を迎える福岡県PTA連合会主催の広報コンクール。その審査結果が4月12日に発表され、小学校59校、中学校19校の中から方城中と上野小の広報紙がそれぞれ最高賞に輝き、弁城小も見事入賞を果たしました。そこで、その喜びの声を各校の広報委員長にお聞きしました。



方城中



加来剛 広報委員長

「こもれび」の特徴はリアルタイムの報告記事やお知らせ記事を中心に、学校新聞などでは書けない「PTAならではの」こだわって作成しています。審査委員からは「毎回テーマを変え、問題提起している。読み応えがある」と好評を得ることができ、一方通行の「広報紙」にならないように努力した成果が今回の受賞につながったと思います。これを機に、PTAが発信する情報の重要性が田川地区をはじめ、筑豊全域に広まってほしいです。

福岡県教育委員会賞



↑学期ごとに2回ずつ年6回発行。卒業生に夢を尋ねるコーナーを設けるなど、独自性あふれる「こもれび」。

上野小



犬丸成美 広報委員長

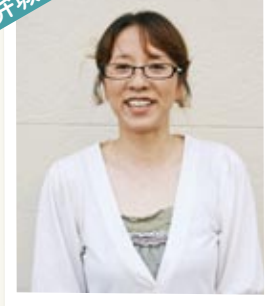
PTA広報紙は「今」子どもたちの周辺で何が行われているのかを知らせる、数少ない「手段」だと考えています。そのため、昨年度から広報紙の発行回数を3回から4回に増刊。学校と保護者、地域が子どもたちの「今」と向き合い、子どもたちの成長を見守っていく一助となるように取り組んでいます。今回の表彰を受け、大変励みになりました。本年度もこれまで同様に委員一丸となって、よりよい広報紙を作成していきたいです。

福岡県教育委員会賞



↑3か月に1回、年4回発行。最大10ページにもおよぶボリュームで細かな記事まで掲載する「たきの音」。

弁城小



香月麻千子 広報委員長

今回の受賞で、6年連続8回目の賞を受け取るようになったPTA広報紙「せせらぎ」。今年も賞を頂けたのは、先輩方のアドバイスや広報委員が力を出し合い、「せせらぎ」の特徴である「PTAにしか書けない記事」を心がけたからだと思えます。広報委員長を引き受けた3年前は不安とプレッシャーに押しつぶされそうでしたが、なんとか周囲の支えを背に「せせらぎ」の伝統を受け継ぐことができ、広報委員一同うれしく思っています。

優秀賞



↑夏休み期間中の8月を除き、年11回発行。歴代担当者の奮闘で、広報コンクール8回入賞の「せせらぎ」。